

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第3区分  
 【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2004-282733(P2004-282733A)  
 【公開日】平成16年10月7日(2004.10.7)  
 【年通号数】公開・登録公報2004-039  
 【出願番号】特願2004-55500(P2004-55500)  
 【国際特許分類第7版】

H 0 4 B 13/00  
 H 0 4 B 5/00

【F I】

H 0 4 B 13/00  
 H 0 4 B 5/00 Z

【手続補正書】  
 【提出日】平成17年8月25日(2005.8.25)

【手続補正1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0210

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0210】

この(21)の「E」に(18)式の誘導電磁界の項を代入し、電界発生源(送信電極部105)から近傍位置rでノイズフロアn f [dBm]より10 [dB]小さくなるように電荷qと微小ダイポールの電荷との間における距離lの積qlを求めようとする、次式

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0224

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0224】

となる。この(26)式に真空の誘電率  $\epsilon = 8.85 \times 10^{-12}$ 、周波数  $f = 4$  [MHz]、波数  $k = 2\pi f / c$  (c:光速)を代入すると、合成電界の電界強度Eと、電界発生源からの近傍距離rとは図28に示す関係でプロットすることができる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0237

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0237】

【数29】

$$A V_{S_{max}}(0.04 \times 0.04, 0.04, f) = \sqrt{10^{\frac{-174 + 10 \log(100000)}{10}}} \cdot \frac{480\pi^2}{1000 \cdot 0.03} \cdot \frac{4\pi\epsilon \cdot 0.05^3}{\left| j \frac{2\pi f}{c} 0.05 \cdot \exp\left(-j \frac{2\pi f}{c} 0.05\right) \right|} \times \frac{0.002}{ql(4 \times 10^6)}$$